

2022年度4月

START! ▶

筑波大学 × 薬ゼミ  
産学共同研究開発

～タスクシフティングを目指して～

# 超デキるかかりつけ薬剤師プログラム 申込開始

タスクシフティングで超デキるかかりつけ薬剤師へ!

**1** あの講座も、あの講座も受講しなきゃ…

手当たりしだい受けても仕事で使えなきゃ意味ないしな…

いろいろな研修がありすぎて、どれを受けていいか…

**2** この超有名スーパー医師で薬剤師の強い味方、Dr.前野が、これから必須になる臨床力が身につく新コースを開設されるよ

**3** タスクシフティングで医師・多職種との連携が「しまへん」

**4** これまで医師が行っていた業務を他職種に移管して、医療全体で患者さん・家族・地域を診ていくという考え方ね!

既存の職種の「枠」にとられず多職種がお互いカバーしあって必要な医療を提供する考え方が必要

この考え方を取り入れた多職種連携をタスクシフティングというんだ

患者さんにとってのベスト  
⇕  
自分ができること

**タスクシフティング**

キーワードは「タスクシフティング」  
すべての業務の基礎となるから、まずこのコースで腰をすえて受けてみるのもいいね

このコースは

# かかりつけ薬剤師の あるべき姿に向けた“一歩目”

## POINT 1

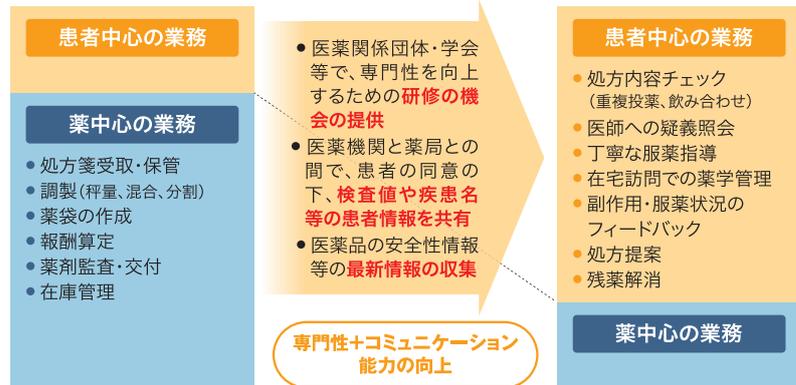
かかりつけ薬剤師の  
あるべき姿って？  
「患者のための薬局ビジョン」を  
おさらい

- 地域包括ケアシステムで求められる  
薬剤師の職能として2015年策定



医師をはじめとする多職種と連携し、こうした業務を行うことが求められる

### 対物業務から対人業務へ



## POINT 2

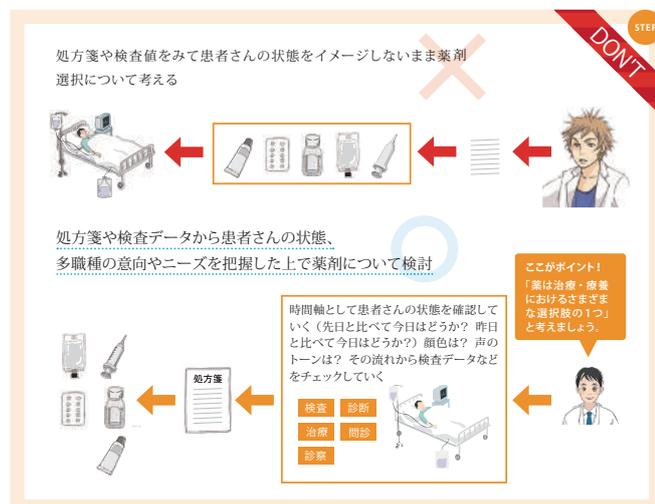
薬剤師は地域包括ケアにおいて  
「患者」ではない「地域住民」と接点を持つ**ほぼ唯一の医療従事者**

- 既に病気を抱えている方が訪れるクリニックや病院と異なり、未病・予防といった方も出入りする薬局は、地域で最も敷居の低い「医療の窓口」
- 適切な受診勧奨やOTC薬選択といった役割を担う

## POINT 3

あるべき姿に向けた一歩目は  
薬という「**枠**」を越えること

- 「医療の窓口」として介護や福祉とも連携し、情報収集・アセスメント、多職種への適切な情報共有を必要とする
- 「薬」から考えがちだったこれまでの業務から、患者さんの状態を大前提とし、家族背景や多職種の情報もかんがみだ広い枠の中で業務を行う薬剤師に！



## コースを受講すると・・・

医師・看護師からの質問にもう「たじたじ」しない！  
患者さんに一歩踏み込んだ支援ができる！

患者さん・多職種からの  
「ありがとう」が増えていく！

全講座 認定薬剤師  
研修単位(G13)  
発行対象！  
さらに、全講座受講で  
修了証発行予定！

## e-Learning カリキュラム

カリキュラムの全体像は  
こうなっているんだ！

(2022年3月現在)

項目	コンテンツ	時間 (hr)	講師
1 地域医療で求められる薬剤師の役割	・イントロダクション ・タスクシフティングとは ・地域医療の現状と課題	0.5	筑波大学 前野先生
2 コミュニケーション	・コミュニケーションの基礎	0.5	筑波大学 前野先生
3 診断に役立つ病歴聴取	・薬剤師と臨床推論 ・臨床推論基本的考え方	0.5	筑波大学 前野先生
4 予防・健康増進	・ヘルスプロモーション ・健診	各0.5	筑波大学 吉本先生 筑波大学 前野先生
5 薬剤師に求められる症状対応	【全12症候】 ①・風邪・頭痛 ②・胸痛・腹痛・腰痛 ③・動悸、呼吸困難・しびれ ④・体重減少 ・便秘異常（便秘、下痢） ・嘔吐 ⑤・浮腫・排尿障害	各0.5	筑波大学 前野先生
6 日常よく遭遇する疾患・病態に関する基礎知識	・糖尿病トータルマネジメント	4.5	筑波大学 前野先生
7 効果的な情報伝達	・効果的なプレゼンテーションの仕方	0.5	筑波大学 前野先生
8 医師の診療プロセスの把握とそれを活用した患者支援	・臨床倫理学 ・行動変容と患者教育 ・臨床検査	各0.5	筑波大学 吉本先生 筑波大学 阪本先生 筑波大学 前野先生
9 患者中心の医療と多職種連携の実践	BPSEモデル ・患者中心の医療 ・家族志向ケア ・多職種連携コンピテンシー	4.5	筑波大学 吉本先生

今なぜこのコースが必要？  
コースを受けるとどんな薬剤師になれる？

前野先生の動画を視聴しよう



患者アセスメントや  
多職種との連携の前提となる  
コミュニケーション力を身につける

受診勧奨やコンサルテーションといった  
「臨床決断」での必須の情報の  
集め方と考え方

エビデンスに基づく健診の有用性を知り、  
地域住民の予防・健康増進につなげよう

薬剤師が出会う可能性が高い症候を  
ケーススタディを通じて  
ポイントを絞った解説  
「すぐ受診を勧める？1日様子を見る？  
OTCで対処する？」

患者さんの健診結果を受けて、  
初診から10年間フォローする  
ケーススタディ。  
患者さんにあわせた指導とは？

伝え方が9割。医師への報告1つ  
とっても漏れなく、要領よく

診断・治療にどのようなプロセスがあるか？  
をわかっていることは患者支援の第一歩

これからのチーム医療の前提となる  
必須の患者さんに対する考え方

## 集合研修講座 カリキュラム

集合研修（4講座）も  
セットで受講できます！

- 06月19日（日） 薬剤師に求められる症状対応（筑波大学 前野先生）
- 08月07日（日） 薬剤師が知っておきたいアルコールの知識とその対応（筑波大学 吉本先生）
- 10月16日（日） 明日から使える行動変容支援（筑波大学 吉本先生）
- 11月27日（日） EBMを活用した臨床決断ができる薬剤師への道（筑波大学 前野先生）

## 2022年度薬剤師生涯学習講座

# 合計 21 単位 発行 研修修了証発行



かかりつけ薬剤師同意書の  
研修欄に書けます



2022年 2023年  
4月1日～3月31日

## 集合研修(12単位) + e-learning(9単位)

※一般社団法人 薬学ゼミナール生涯学習センターが発行する認定薬剤師研修単位が取得できます。

### 集合研修日程…

- 6月19日(日) 薬剤師に求められる症状対応
- 8月7日(日) 薬剤師が知っておきたいアルコールの知識とその対応
- 10月16日(日) 明日から使える行動変容支援
- 11月27日(日) EBMを活用した臨床決断ができる薬剤師への道

### 集合研修場所…

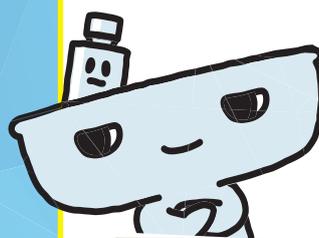
WEB生配信 (Zoom)

※新型コロナウイルス感染症対策により、WEB生配信 (Zoom) での開催とさせていただきます。

全会場一律 25,000 円

クーポン使用すると

21,000 円



Ph-port 登録すると、  
クーポンがございます!



Ph-port



生涯学習講座は

「薬ゼミラーニングトレイン」よりお申込下さい。



薬ゼミラーニングトレイン

### 講師…



筑波大学 医学医療系 地域医療教育学 教授  
附属病院 総合診療科

前野 哲博 先生

筑波大学 医学医療系 地域総合診療医学 准教授  
附属病院 総合診療科

吉本 尚 先生



一般社団法人薬学ゼミナール生涯学習センター 受付係  
Email: info@yakuzemi-shougai.jp HP: http://www.yakuzemi-shougai.jp  
TEL:03-6452-6456 (月曜～金曜 平日 09:00～17:00)



生涯学習センター